

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スターフィッシュ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月21日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年2月21日		～ 令和年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援	集中して学習に取り組めるよう、子どもの特性やその日の状態に合わせて環境を調整している(パーテーションで机を区切る・困う、別室を用意する、職員が隣に座る等)。子どもの得意なこと、苦手なことなどをアセスメントし、本人が取り組みやすい学習方法や教材を提案している。	連絡帳などを活用し、日頃から学校と学習進度や支援方法の共有を図る。
2	利用時間の選択肢がある	学校がある日は利用時間が15～21時のため、部活動や習い事の後に利用していただくことも可能。 15～18時は小学生優先、18～21時は中高生優先と時間帯を大まかに分けている。年齢の近い子が集まったり、学習習慣の意識が大切な中高生が集中しやすい環境を整備したりしやすいように心掛けている。	保護者や子どもの希望を確認しながら今後も調整をしていく。
3	5領域に対応した活動の提供	主にカードゲームやものづくりといった遊びを通して子どもが持つ力を伸ばせるように関わっている。 コグトレプリントやSSTシートなどの様式も取り入れている。 室内では卓球や風船バレー、天気の良い日は近所の公園へ外出などの運動も取り入れている。	SSTやコグトレの活用方法について、より理解を深めるために事業所内で勉強会・事例検討会を実施する。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報公開が不十分	安全計画の概要は契約時に説明するが、詳細の案内ができていなかった。	安全計画のファイルを玄関に設置する。
2	保護者やきょうだいなど、家族同士が交流できる機会がない	時間の確保が困難。 職員の勉強不足。	保護者会・きょうだいの会を実施している事業所に助言を乞う。
3	子どもクラブをはじめとした地域との関わりが薄い	関わる機会の見通しが持てない。	地域のイベント(会津まつり、フリーマーケット等)に参加する方向で交流を深める。